

平成15年5月8日  
関西国際空港(株)

## 国際貨物地区等の地下水対策について

### 1. 対策の必要性

昨年7月、国際貨物地区の一部建物の地下室で地下水の漏水が発生しました。これは、外潮位が高く、それに追隨して地下水位が高くなったために、地下室側壁にある配管の貫通部の隙間から漏水したものです。これに対しては、貫通部のシーリングを強化する等の対策が取られましたが、空港利用者の皆様方(航空会社等)からは、今後、こうしたことが発生しないように地下水対策を検討して欲しい旨の依頼が為されていたところです。

このため、当社で検討を行った結果、近年潮位の高い日数が増加していることもあり、空港島の地盤の特徴として透水性が高く地下水位が外潮位とほぼ連動していることに鑑み、将来とも地下水の漏水等が発生する懸念が払拭できないことから安全サイドに立った措置として、下記の対策を実施することとしました。

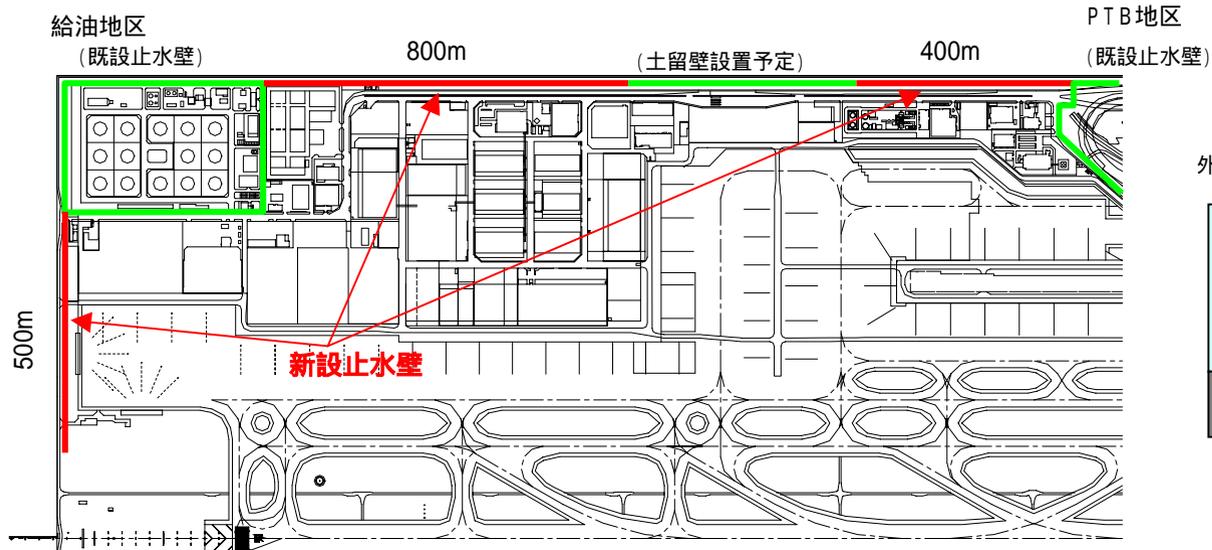
### 2. 対策内容

地下水対策として、旅客ターミナル地区等での実績を踏まえた結果、国際貨物地区周辺に止水壁を構築し地下水位を低下する方法を採用することとしました。

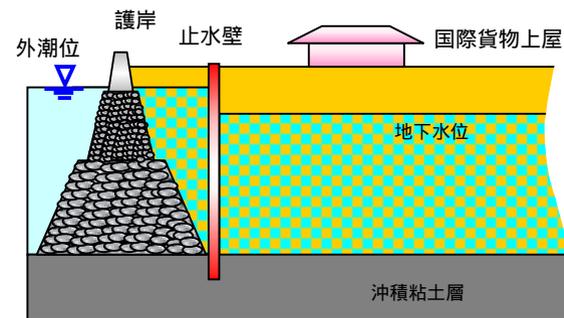
### 3. 事業スケジュール

事業年度 : 平成15～16年度(2カ年)

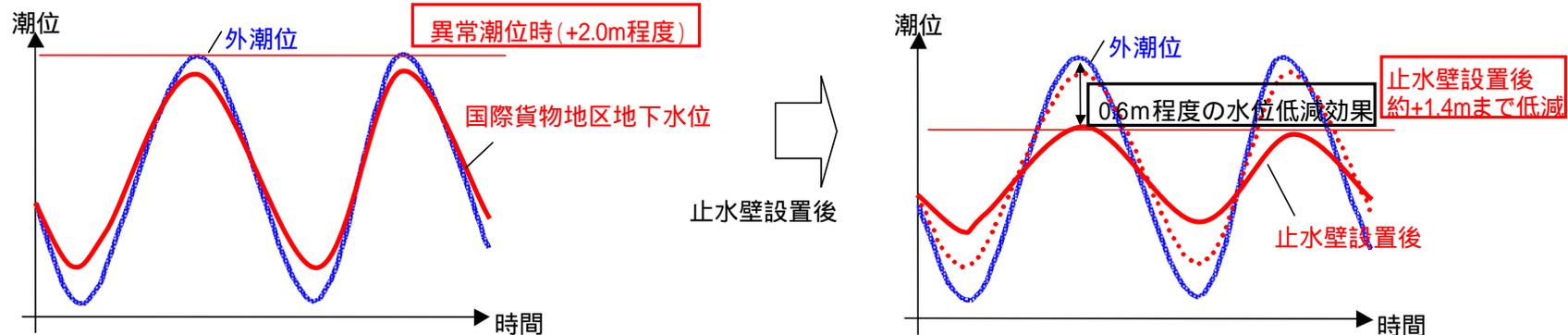
## 平面図



## 止水壁概念図



## 止水壁設置の効果



# 日最高潮位発生日数(累積)

資料 - 2

